みどり工房

取扱説明書

わんころコロリン　WCC−1

※ この取扱説明書はみどり工房のホームページからダウンロードできます。

⚠ 警告	本装置は犬の走行を妨害して捕まえやすくする装置です。犬の走行を止めることはできません。正しい使用方法を身につけず使用すると犬や人命に関わる事故を引き起こします。
⚠ 危険	この装置を使用するときは必ず周囲を柵に囲まれた広く平らで見通しの効く場所（ドックラン等）で使用してください。装置が作動したまま犬を見失うと犬が自力で戻れないので衰弱死します。
⚠ 危険	人や動物、車等に対して激しく反応する犬には本装置を装着しても決してリードを放さないでください。

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みのうえ装置の調整を行えるようになってからご使用ください。

●使用前にシュミレーションを行い、いかなる状態でも敏速に装置を作動できるように練習してください。

●この取扱説明書は大切に保管してください。

１．目次

1 目次　２

2 使用環境の確認

〇使用環境の確認　６

3 各部の名称

〇各部の名称　９

4 装置の特製

〇装置の特製　１２

5 使用前の準備―電池の入れ方

〇電池の入れ方（受信ボックス）　１３

〇電池の入れ方（リモコン）　１６

6 使用前の準備―ハーネス帯のサイズ調整（初期設定）

〇ハーネス帯の長さ調整　２４

7 電源の入れ方

〇電源の入れ方　２８

１．目次

8 使用前の準備―妨害帯の下がる長さと予告ブザー時間の調整（初期設定）

〇妨害帯下降距離調整の必要性　２９

〇妨害帯の下がる長さの調整(右・左)　３２

〇妨害帯の下がる長さの調整(左)　４２

〇妨害帯の下がる長さの調整(右)　４６

〇予告ブザー時間の調整　４８

9 操作方法

〇妨害帯を下げるときは　５１

〇妨害帯を上げるときは　５４

〇電波圏外に出て妨害帯が下降したときの対処方法　５６

〇間欠ブザーモードにするには　５９

10 装置の取り外し順序

〇装置の取り外し順序　６２

11 日常点検・メンテナンス方法

〇妨害帯が汚れたら　６６

１．目次

〇妨害帯が損傷したら　６７

〇妨害帯の取り付けかた　７０

〇雨で濡れた場合は　７３

〇リモコンの“上げる”操作をしても巻上げコイルが空回りして巻き上げ糸が上がらない。　７９

〇巻き上げ糸が切れたら　８１

〇モーターやブザーが動かない、鳴らない　８６

〇リモコンの“上げる”操作をしているのに下がる。又は“下げる”操作をしているのに上がる。　８８

〇リモコンの“下げる”操作をしていないのに予告ブザーが鳴り妨害帯が下がる。　９０

〇リモコンの“下げる”操作をしても妨害帯が途中で止まり地面まで下がらない。　９１

〇リモコンの“下げる”操作で妨害帯は下降するけど地面に接地しても止まらずモーターが回転を続けて糸が絡まる。　９１

〇妨害帯の左右の下降位置が違う。　９１

〇リモコンの”上げる”操作をしても妨害帯が上がらない。９１

１．目次

〇電池を新品にしてもモーターの動きが遅い。　９２

12 装置の仕様

〇装置の仕様　９３

２．使用環境の確認

⚠危険

わんころコロリンＷＣＣ－１は中型犬専用です。

小型犬、大型犬には使用できません。

●使用する場所

わんころコロリンを使用するときは柵で周囲が囲まれた見通しがよく平らで障害物のない場所（ドックラン等）で使用してください。

⚠危険

妨害帯が下降した状態で犬を見失うと自力で戻れなくなり

衰弱死します。

近くに相性の悪い犬がいるときは近づけないでください。犬同士でじゃれ合うと装置が損傷します。

● わんころコロリンをリード代わりにして散歩させないでください。

本装置は逃げ回る犬の動きを妨害して捕獲しやすくするための捕獲補助装置です。

装置を始動させてから犬の運動を妨害するまでに１０秒以上（予告ブザー音の設定により変化します。）かかります。その間に犬は自由に動き回れます。

装置が作動した状態でも犬は少しずつ前に進むことは可能です。

２．使用環境の確認

⚠危険　わんころコロリンをリード代わりに使用しないでください。

犬の動きを妨害するまでに１０メートル以上進みます。

⚠注意　この装置は防水仕様ではありません。

●湿った場所や雨降りのときは使用しないでください。

●雨が降っているときや水溜まり、湿気のある場所では使用しないでください。

●装置に付いた水はすぐにふき取って乾燥させてください。（参７３ページ）

●川や池の近くで使用しないでください。

犬が水中に飛び込むと受信ボックス内に水が浸入して回線がショートし妨害帯が下降します。その結果犬が水中で泳ぐ動作を妨害帯が妨害して溺れて死んでしまいます。

⚠危険　妨害帯が水中で下降すると犬が溺れて死にます。川や池、海の近くで使用しないでください。

２．使用環境の確認

●この装置を海外で使用しないでください。

海外で使用するとその国の電波の法律に違反します。日本国内で使用してください。

●使い始めのときは犬のサイズに合わせて装置の初期調整をおこなってから使用してください。（参２１ページ）

●犬を目視できる場所で使用してください。

リモコンから発射された電波が自分の体で遮断されると犬まで届きません。

体の正面を犬の方に向けてリモコンを操作してください。

●郊外での使用をお勧めします。

使用している２．４ＧＨｚの周波数帯はパソコン機器や調理器でも使用されています。

住宅街や家の中では電波の届く範囲が狭くなります。

3. 各部の名称

図 3-1

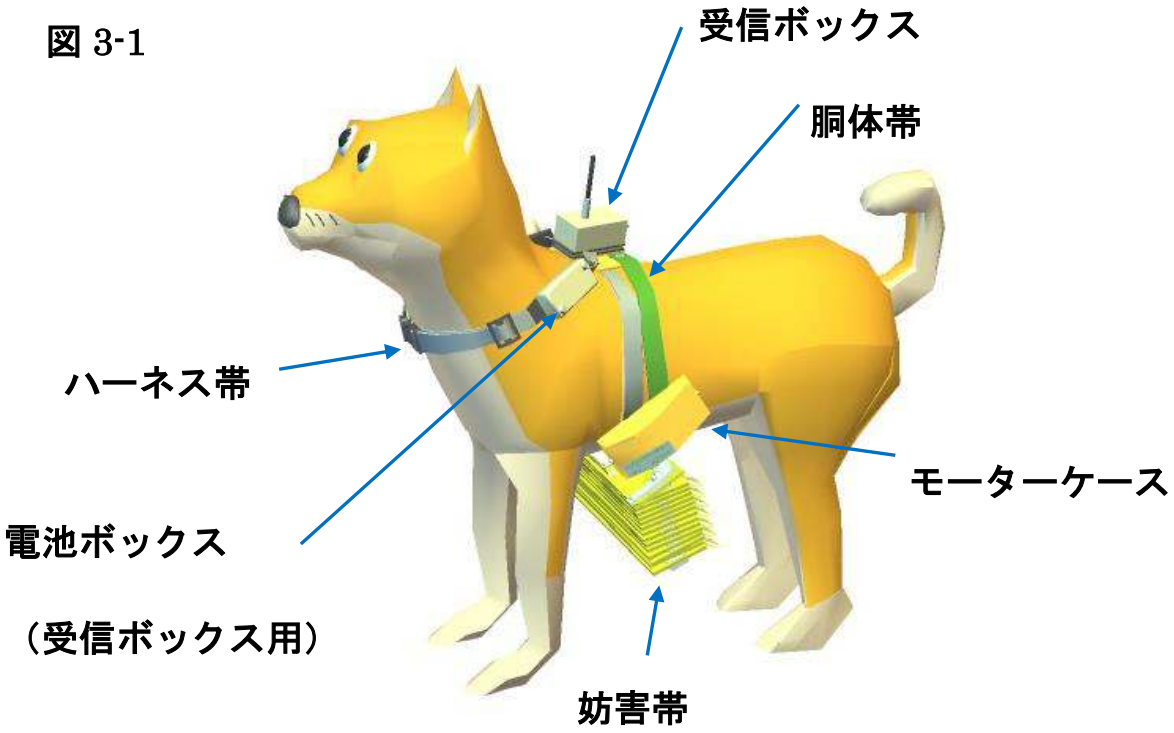
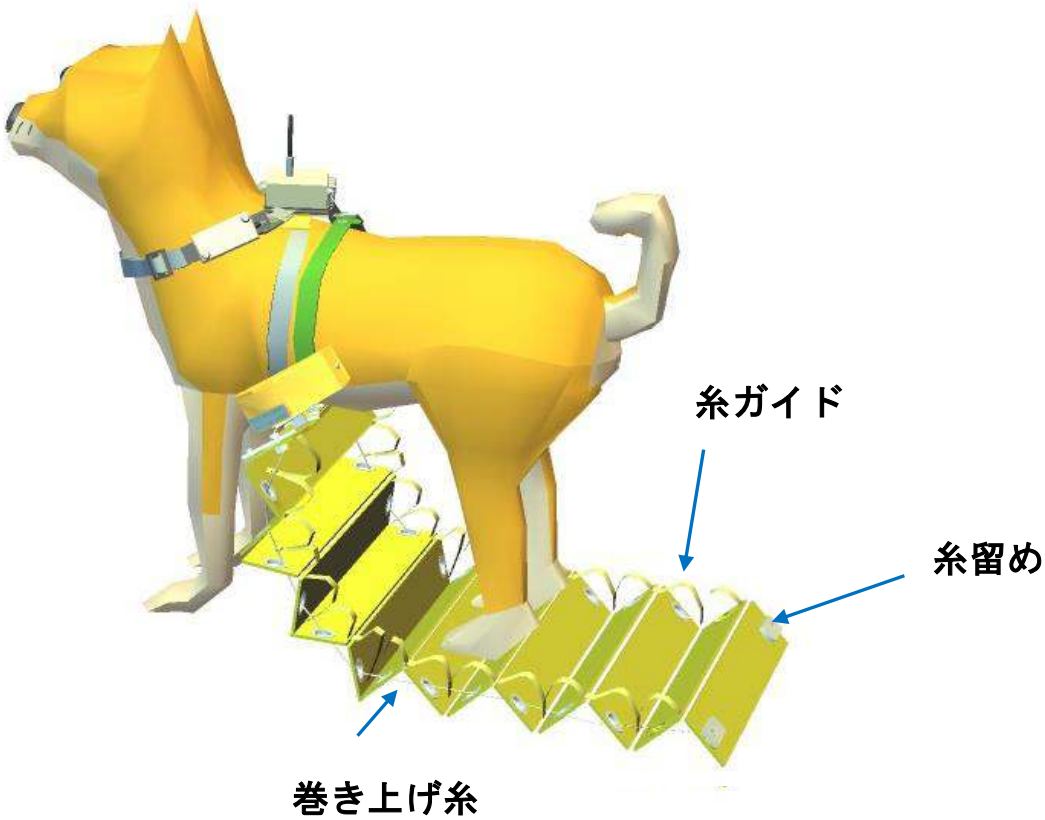


図 3-2



3. 各部の名称

図 3-3

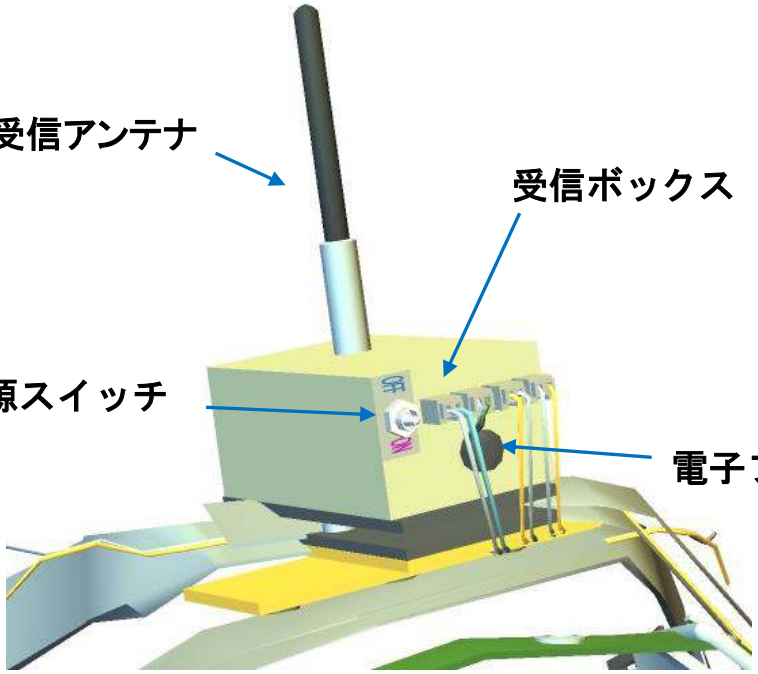
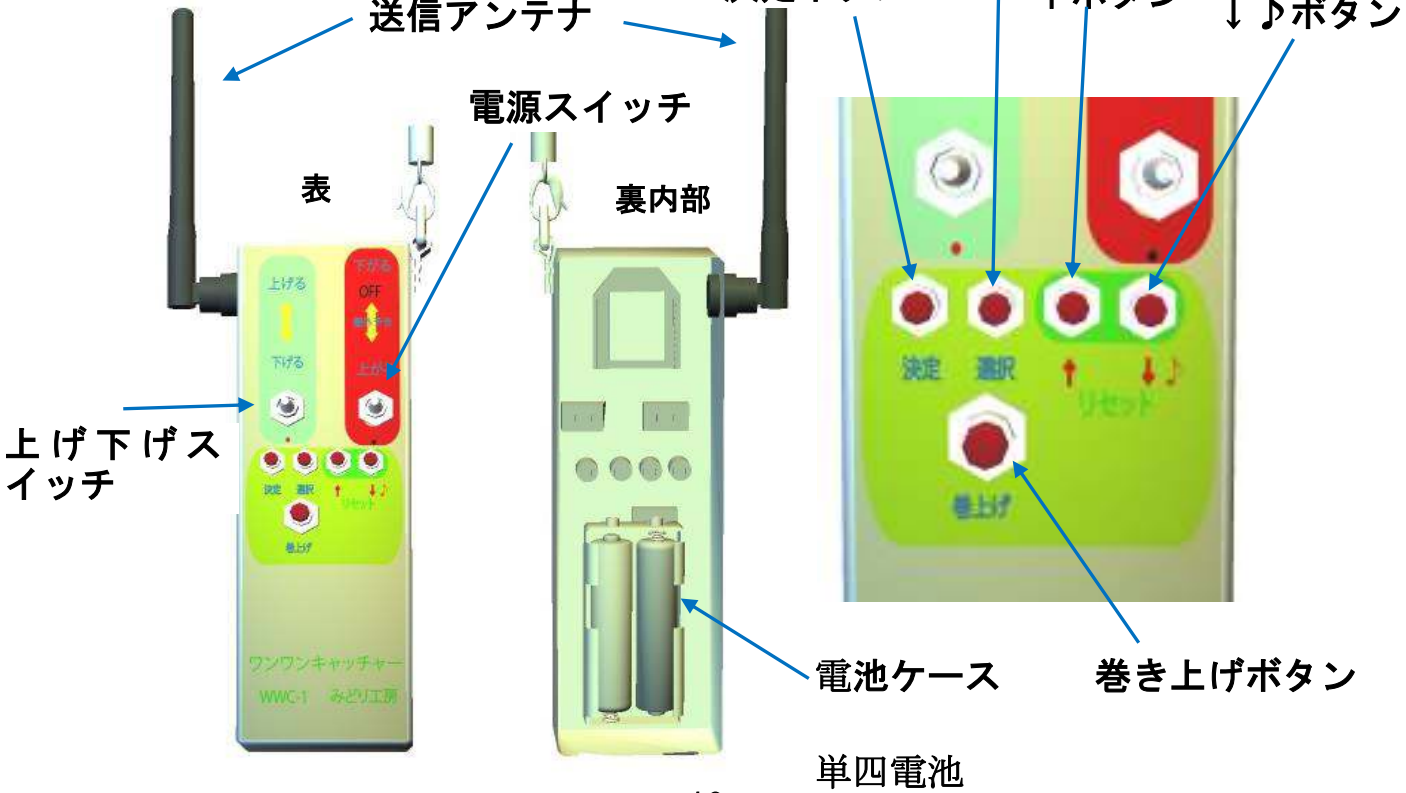


図 3-4-1　リモコン　図 3-4-2　各種設定ボタン　図 3-4-3



3. 各部の名称

図 3-5　　電池ボックス（受信装置用）

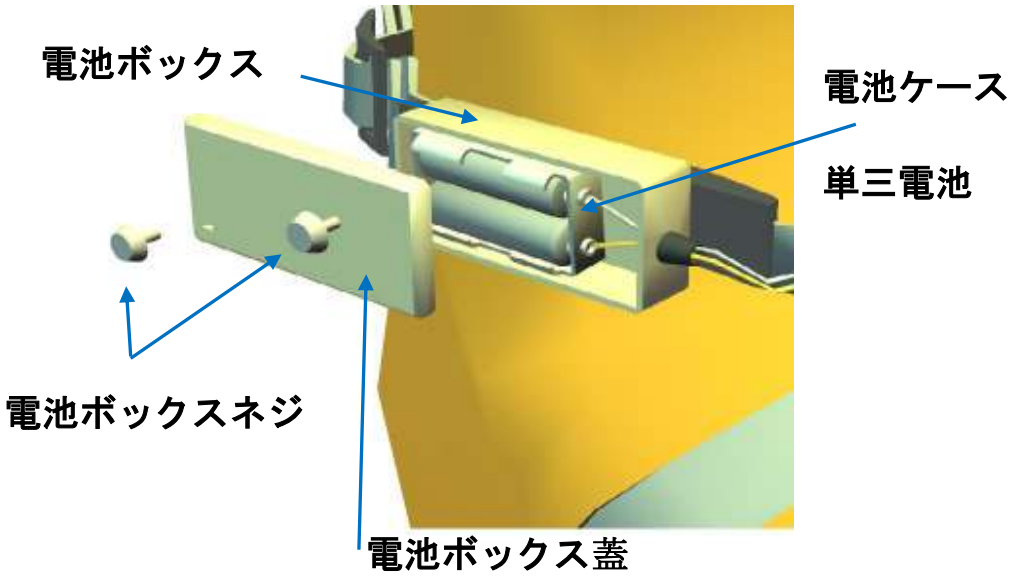
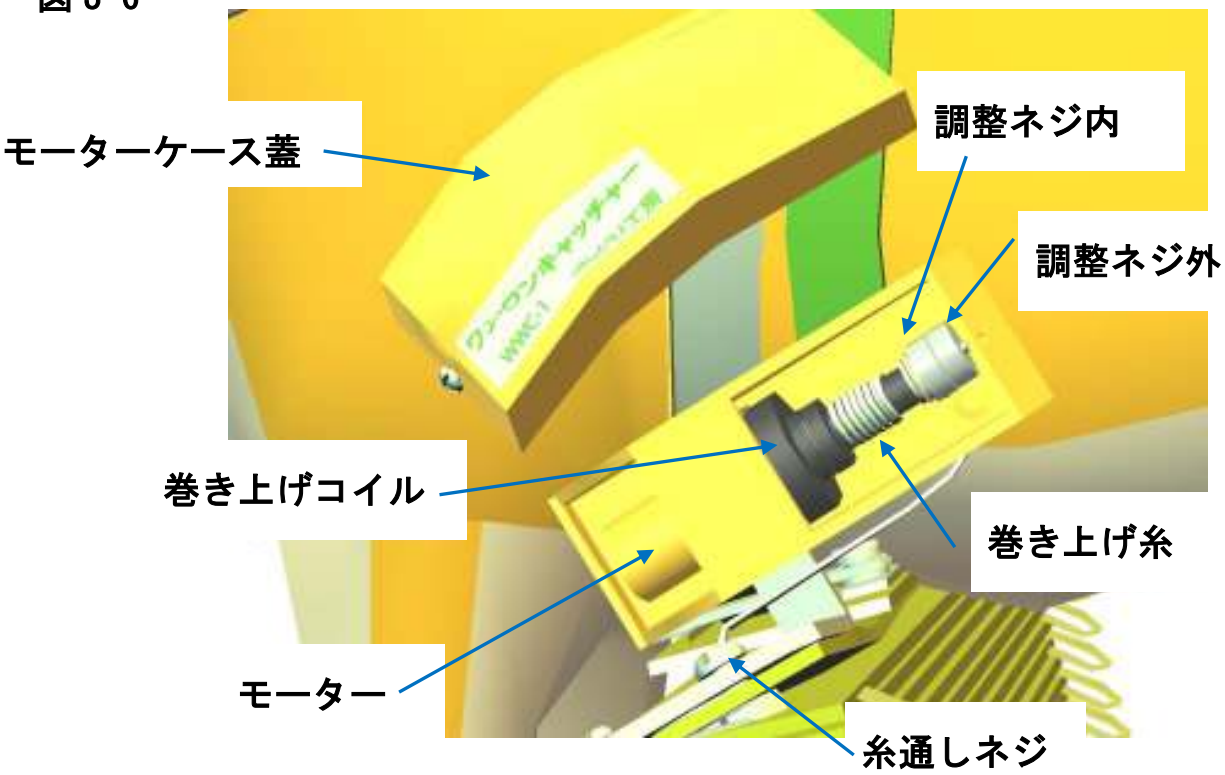


図 3-6



4. 装置の特性

●「わんころコロリン」とは逃げ回る犬の後足の前進運動を妨害して捕まえやすくするための捕獲補助装置です。

●犬が全速力で走っているときに装置を作動させると転倒して怪我をします。その為装置が始動する前に予告ブザーを一定時間鳴らして犬に知らせます。その間犬は自由に動き回れます。

●装置を始動してから犬の動きを制限するまでに１０秒以上かかります。

※設定する予告ブザーの長さにより変動します。（参４８ページ）

●前足の動きを妨害しないので転倒して怪我をするリスクを減らせます。

●使用環境によっては機能を十分発揮できません。この取扱説明書をよく読み短所と長所と短所をよく理解して上手に使用してください。

5. 使用前の準備－電池の入れ方

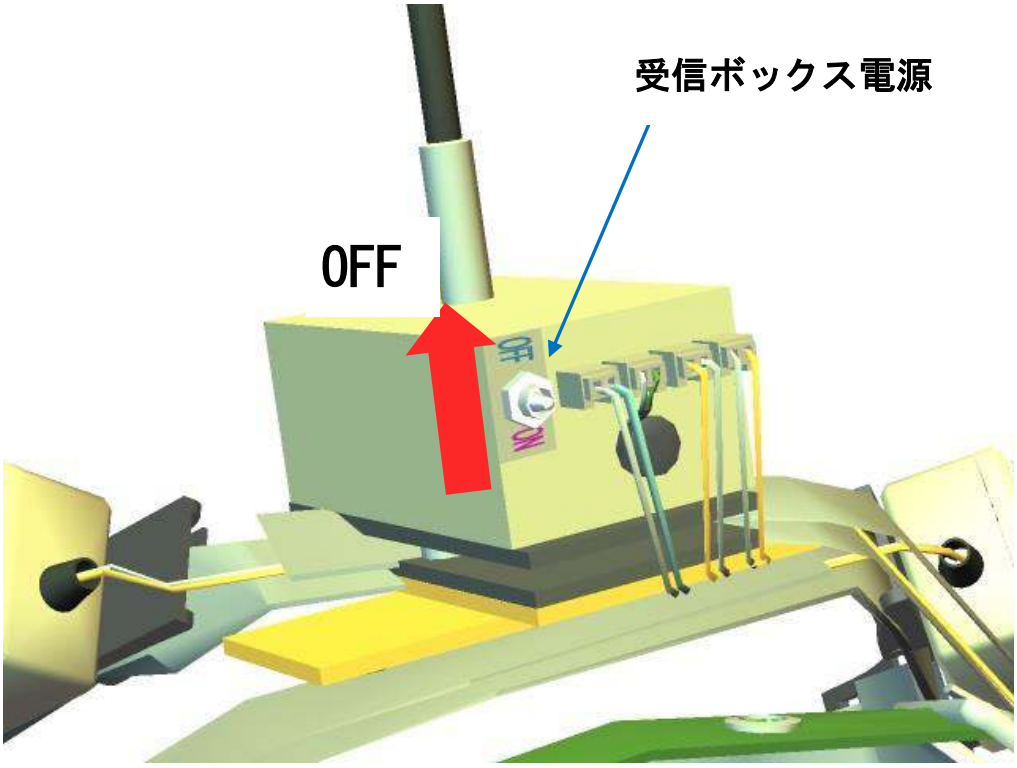
●受信ボックス（犬側）の電池の入れ方

使用電池　単三電池　４本（充電電池使用可能）

※受信ボックス側の電池はモーター駆動による電力消費が多いので充電電池の利用をお勧めします。

1 受信ボックスの電源がＯＦＦになっていることを確認してください。

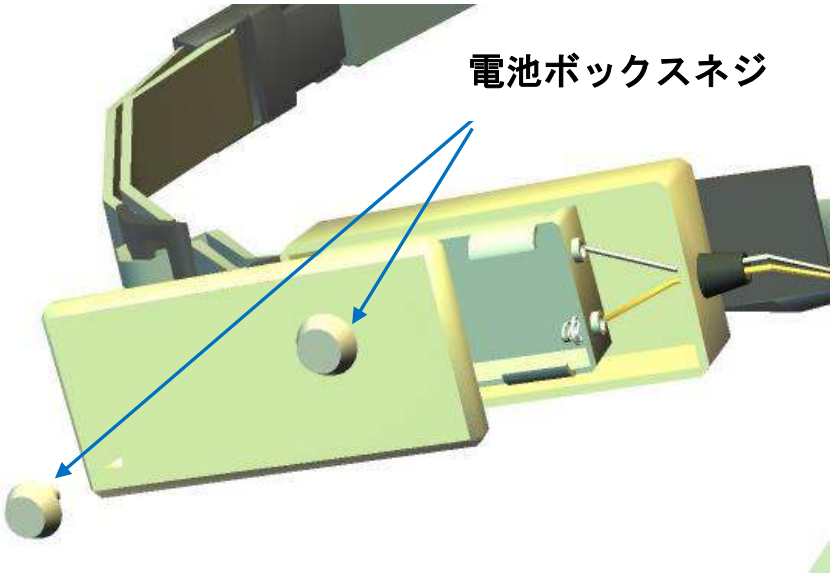
図５－１



5. 使用前の準備－電池の入れ方

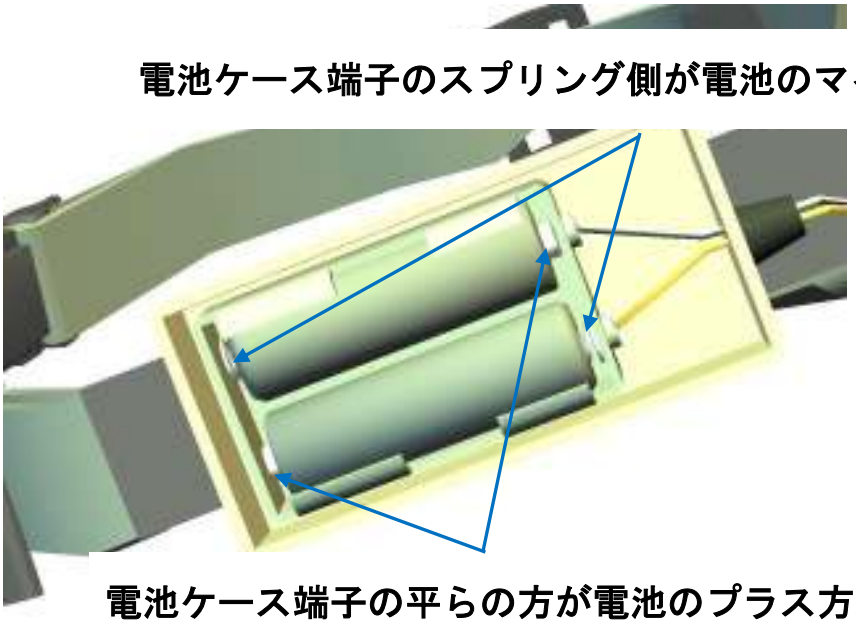
2 電池ボックス蓋のネジを外して蓋を取り外します。

図５－２



3 電池の＋－の方向を確認して電池を入れてください。

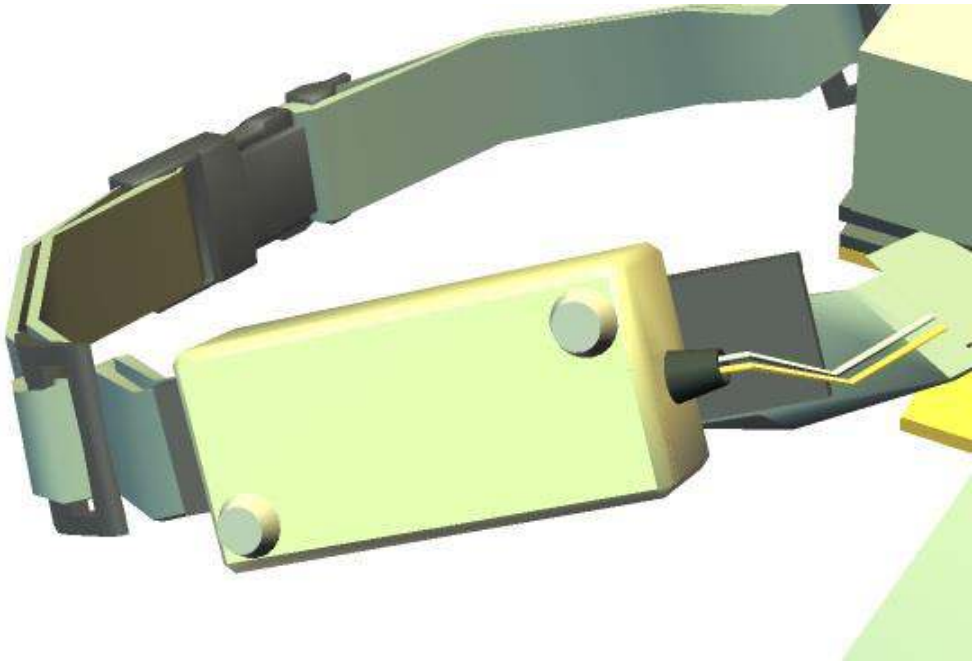
図５－３



5. 使用前の準備－電池の入れ方

4 電池ボックスの蓋を閉じてネジを締めます。

図５－４



5 反対側の電池ボックスも同じように交換してください。

●リモコン側の電池の入れ方

使用電池　単四電池　２本

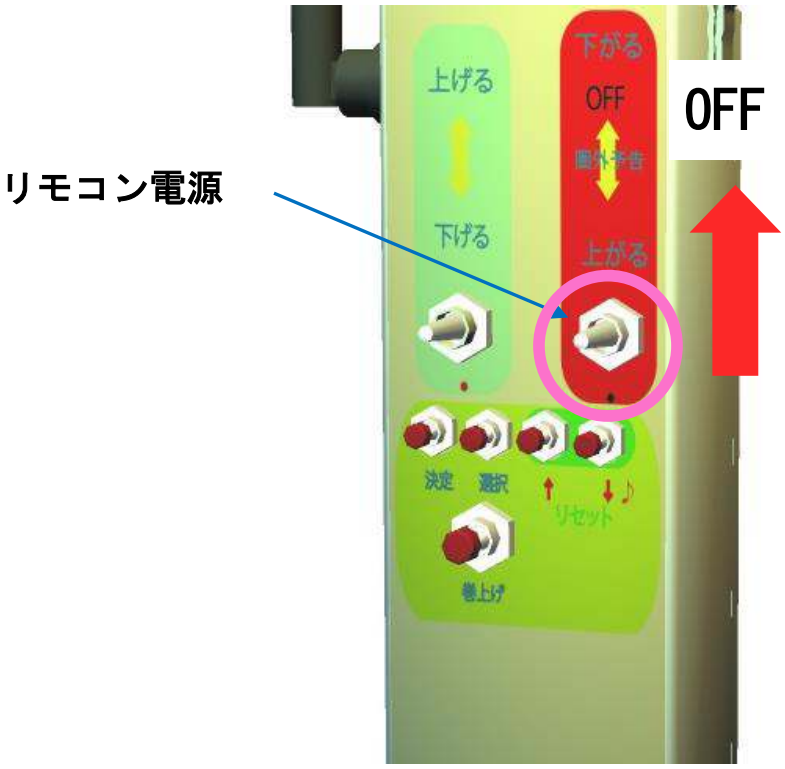
⚠危険

リモコン側は充電電池使用不可―充電電池では電圧が低いので電波の届く範囲が狭くなり誤作動の原因になります。

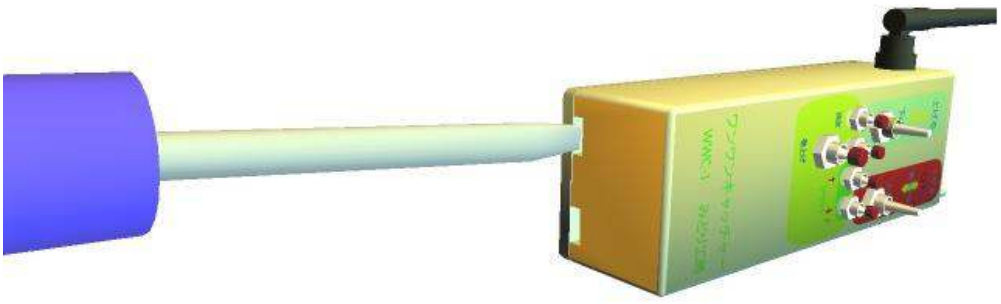
5. 使用前の準備－電池の入れ方

1 リモコンの電源がＯＦＦになっていることを確認してください。

図５－６



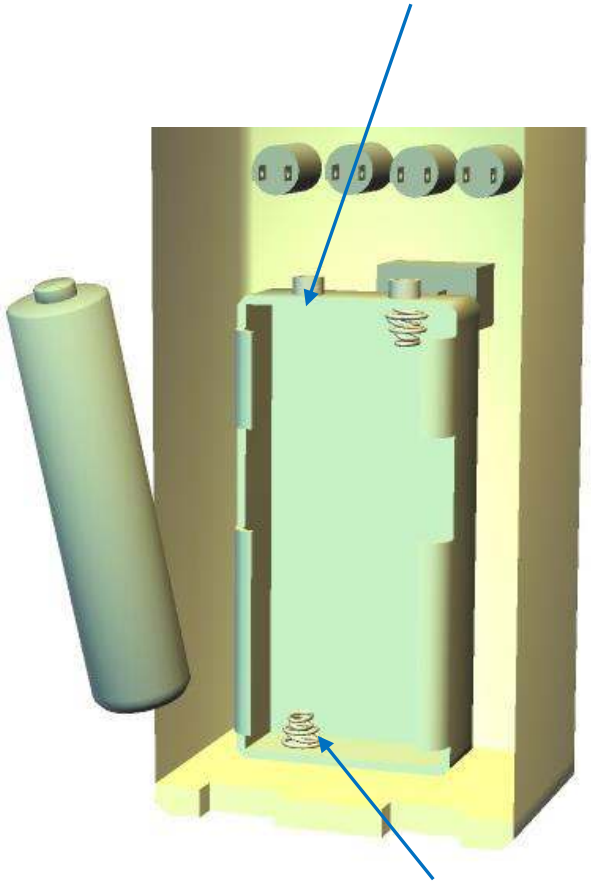
2 リモコンボックスのツメ穴にマイナスドライバー等をねじ込んで蓋を開けてください。　図５－７



5. 使用前の準備－電池の入れ方

3 電池の＋－の方向を確認して電池を入れてください。

図５－８　　電池ケース端子の平らの方が電池のプラス方向

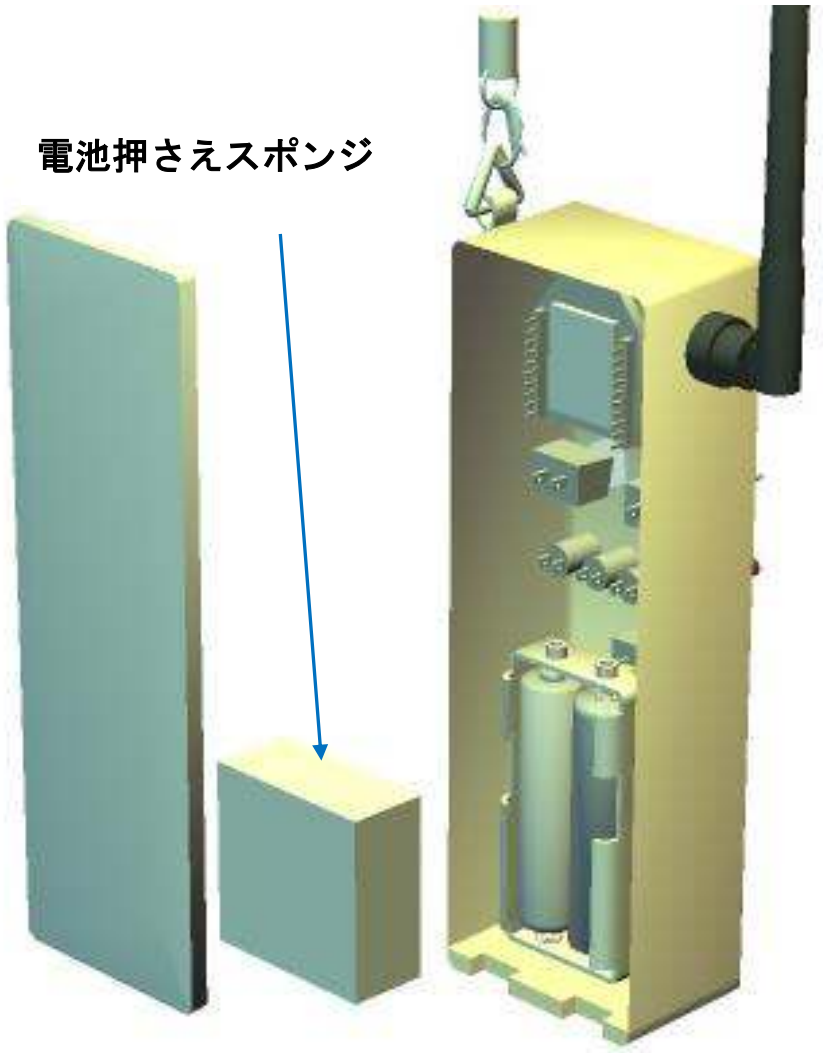


電池ケース端子のスプリングの方が電池のマイナス方向

5. 使用前の準備－電池の入れ方

4 電池押さえスポンジが電池を押し付けるようにして蓋を閉じます。

図５－９



⚠ 注意

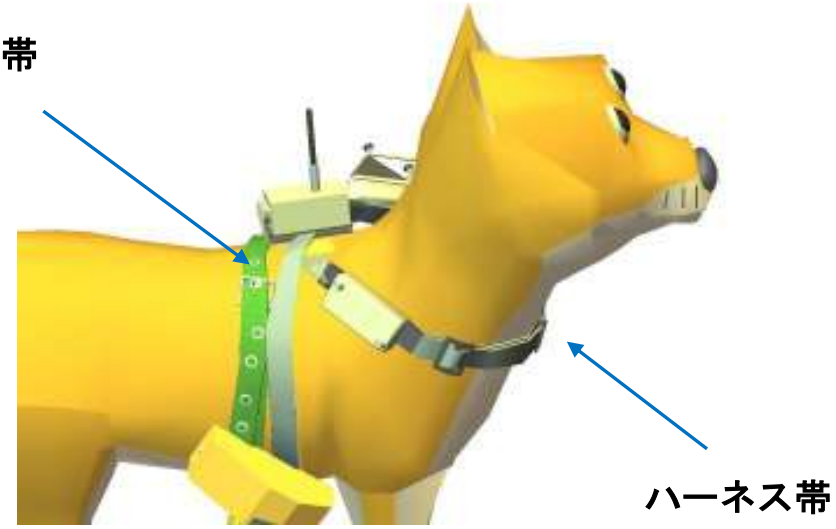
電池押さえスポンジは振動により電池ケースから電池が外れるのを防いでいます。必ず使用してください。

6. 使用前の準備―ハーネス帯の長さ調整（初期設定）

●ハーネス帯の長さ調整

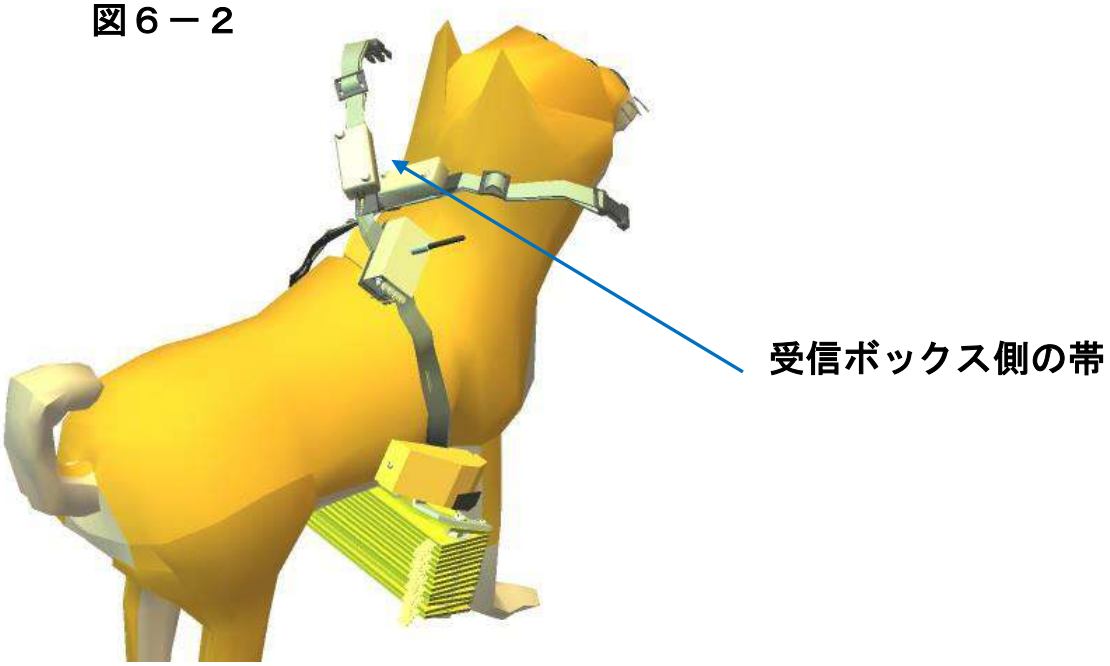
わんころコロリンはハーネス帯と胴体帯の２本の帯により犬に装着されています。

図６－１



１ハーネス帯の受信ボックス側の帯が上になるように交差させてください。

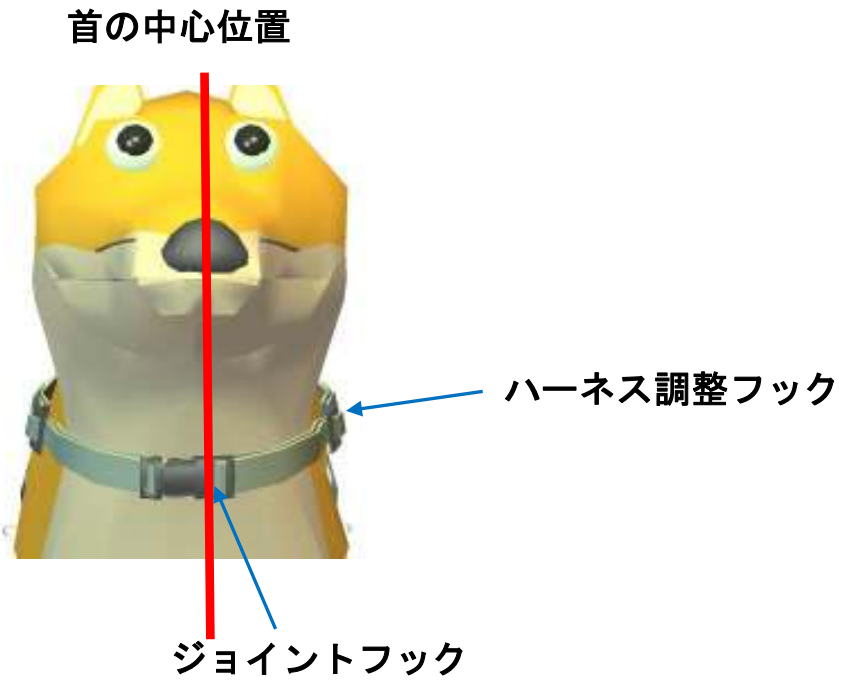
図６－２



6. 使用前の準備―ハーネス帯の長さ調整（初期設定）

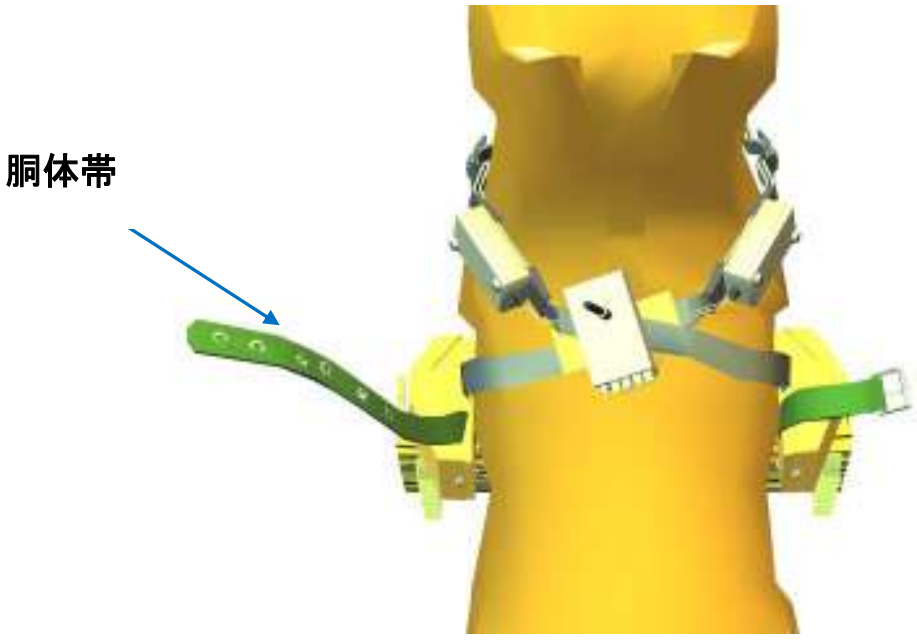
１ハーネス帯のジョイントフックが首の中心位置にくるようにハーネス調整フックを調整してください。

図６－３



1 胴体帯を犬の胴体に装着します。

図６－４



6. 使用前の準備―ハーネス帯の長さ調整（初期設定）

4 左右の電池ボックスが首の横に位置するように電池ボックス調整フックを緩めて調整してください。

図６－５－１　左右の電池ボックスの位置

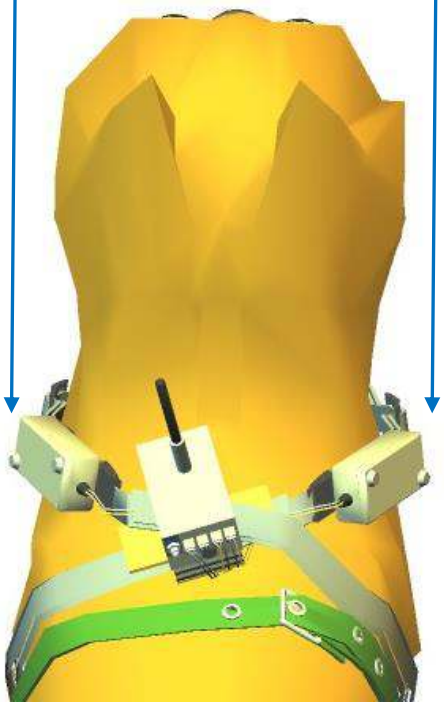
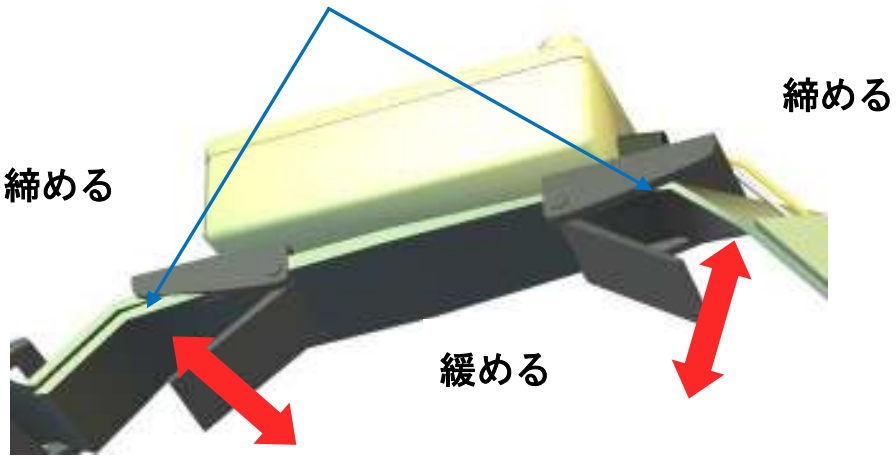


図６－５－２　電池ボックス調整フック

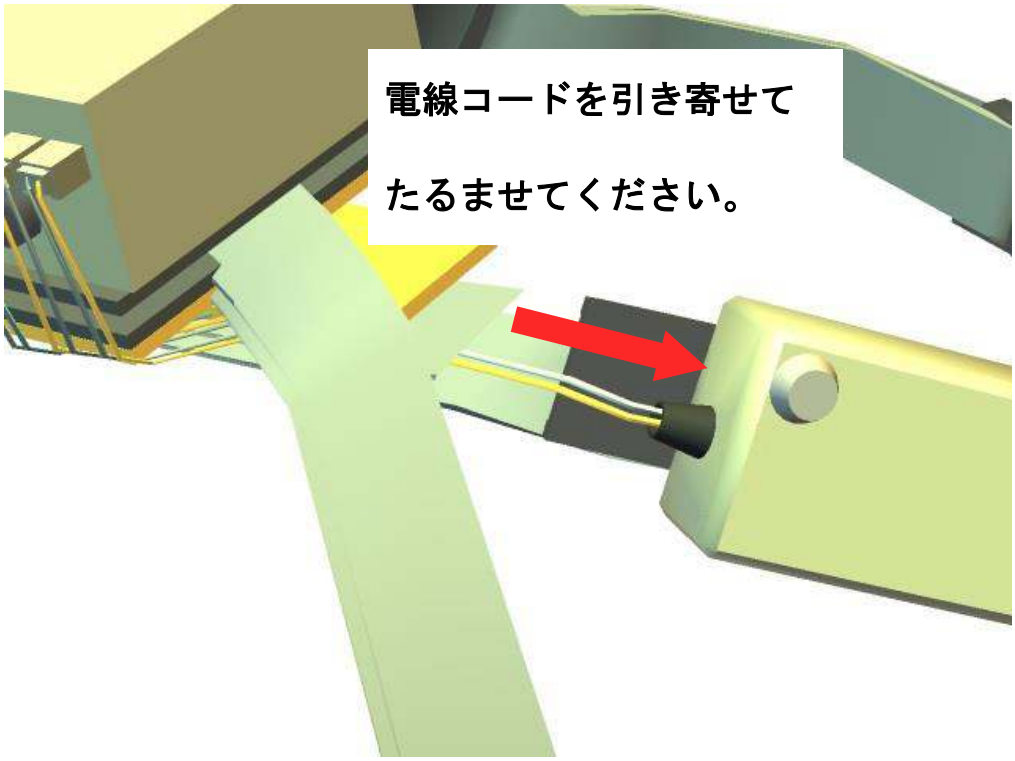


6. 使用前の準備―ハーネス帯の長さ調整（初期設定）

※電池ボックスの位置を調整するときは電線コードやコネクターが断線しないように

にあらかじめ動かしたい方向にコードをたるませてから移動させてください。

図６－６



6. 使用前の準備―ハーネス帯の長さ調整（初期設定）

5 受信ボックスが首の真上の位置にくるように受信ボックスのボタンとハーネス帯のボタンをとめて固定してください。

図６－７

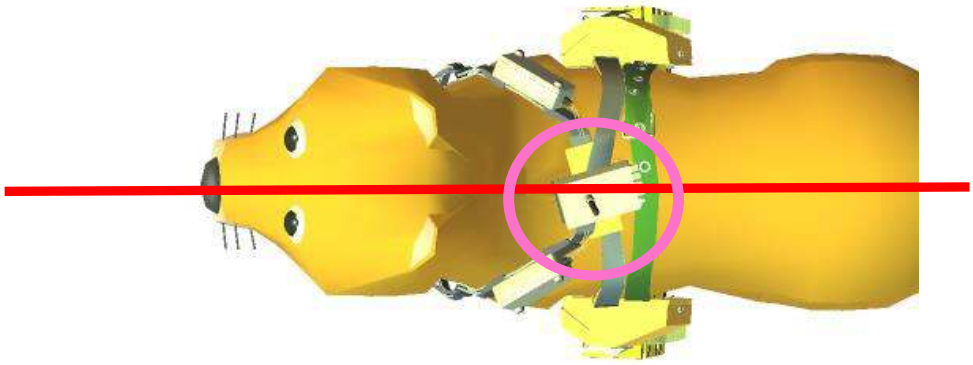
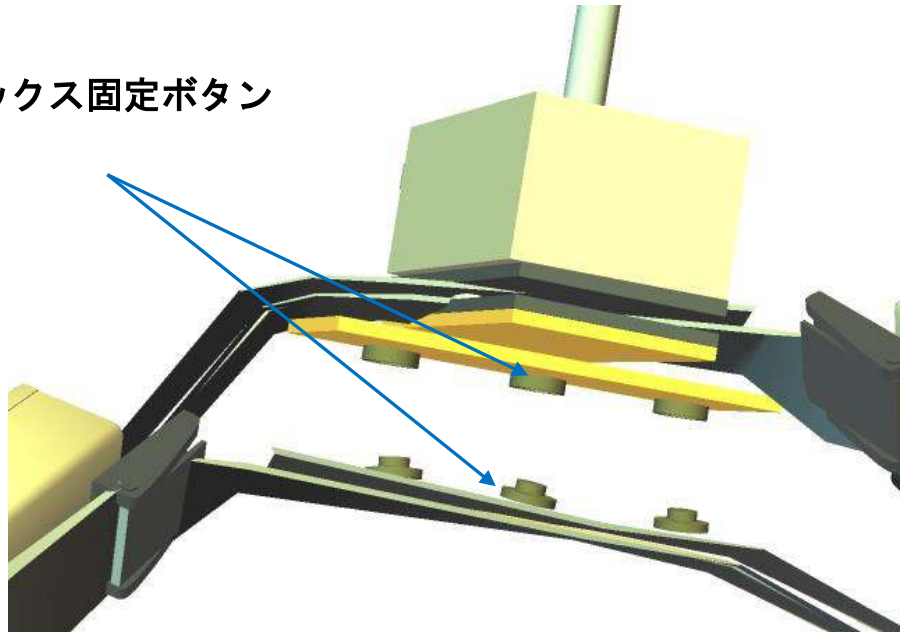


図６－８

※ボタン列の両端では３個のボタンを留めることができません。そのときは２個のボタンで留めてください。



7. 電源の入れ方

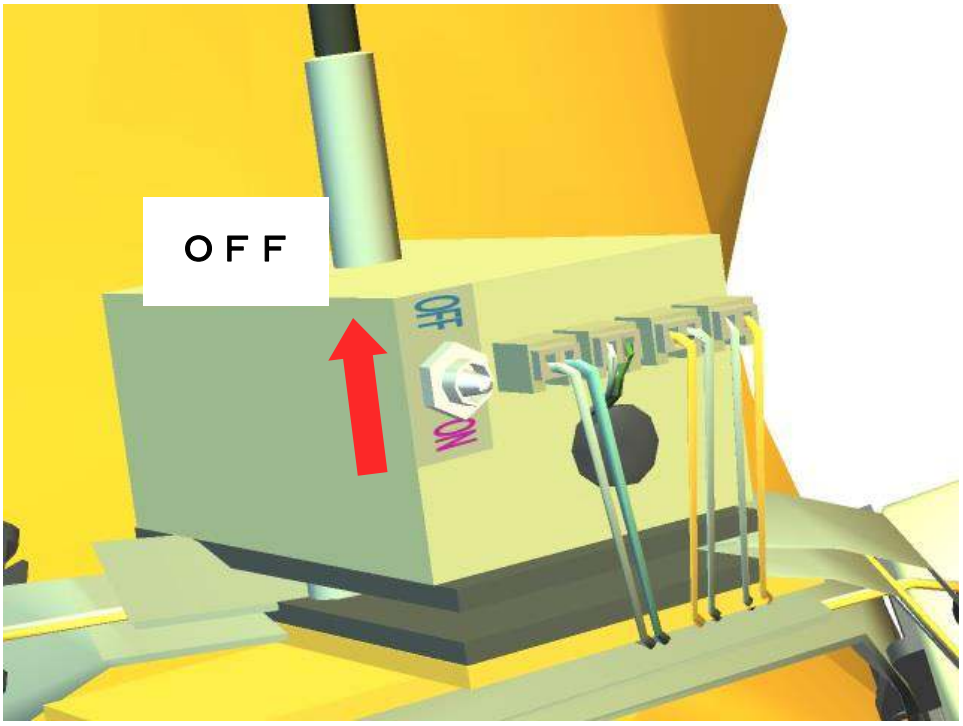
●電源の入れ方

⚠ 危険

受信ボックスとリモコンの電源を入れる順序を守らないと装置が勝手に動き出して制御できなくなります。必ずリモコンの電源を入れてから受信ボックスの電源を入れてください。

1 受信ボックスの電源がＯＦＦになっていることを確認してください。（これを確実に行わないとリモコンの電源を入れたときに妨害帯が下がります。）

図７－１



7. 電源の入れ方

2 妨害帯の“上げ下げスイッチ”が“上げる”になっているか確認してください。

図７－２

妨害帯の“上げ下げスイッチ”を“上げる”の状態にしてください。

※これを確実に行わないと受信ボックスの電源を入れると同時に妨害帯が下がり始めます。

⚠注意

電源を入れるときは必ずリモコンから入れてください。受信ボックスから先に入れると電波圏外に出ている（参５６ページ）と判断されて妨害帯が勝手に下降します。

7. 電源の入れ方

3 リモコンの電源スイッチを“ＯＮ”にします。

図７－３

※操作パネル表示の“上がる”の意味は

リモコンの電源がＯＮになるとリモコ

ンから電波が送信されるので受信ボッ

クスは電波圏内の状態になるので妨害

帯は上がった状態を維持します。この状

態でリモコンの電源をＯＦＦにすると

妨害帯は下降します。（参５６ページ）

リモコン電源

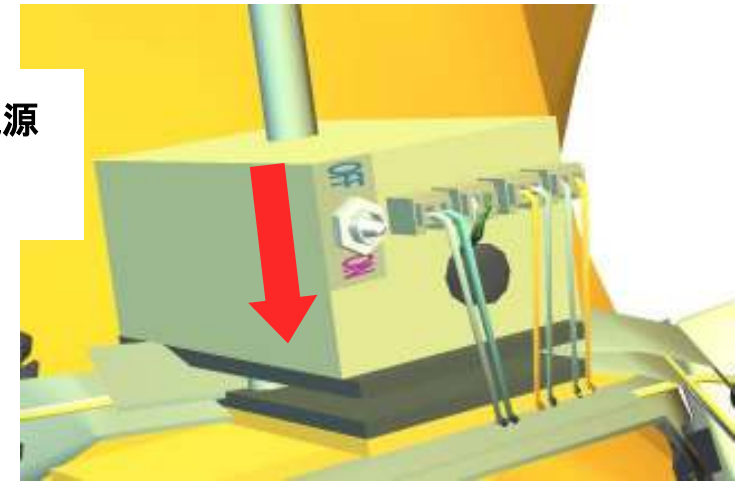
ＯＮ

4 受信側の電源スイッチを“ＯＮ”にします。

図７－４

受信ボックス電源

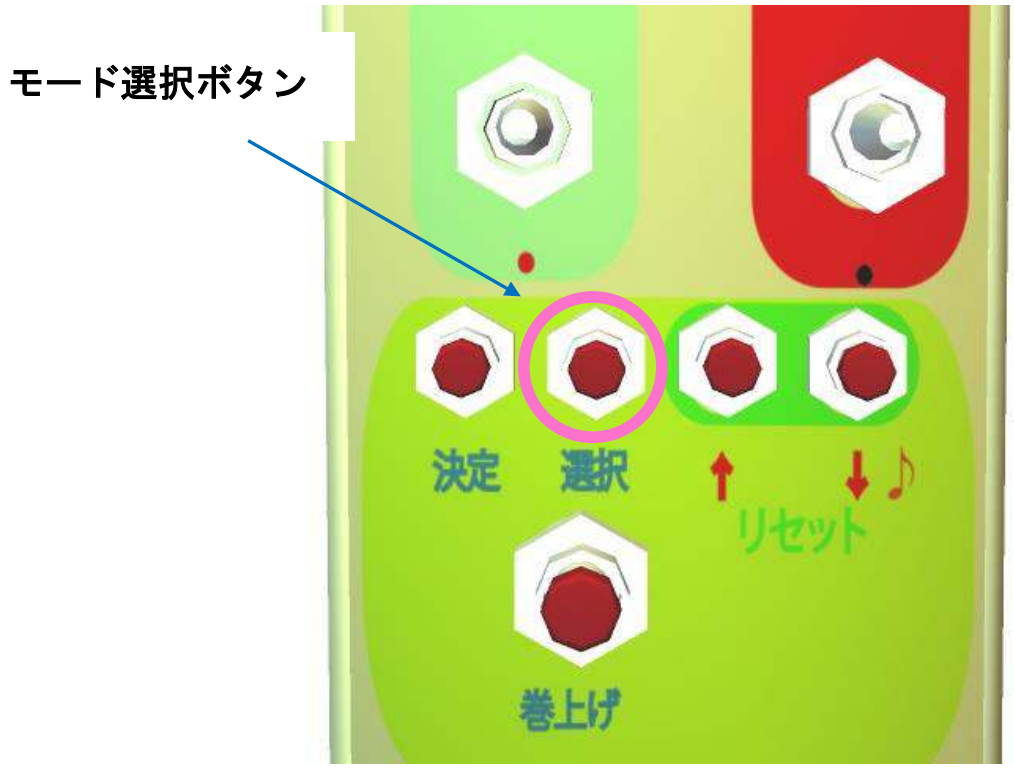
ＯＮ



7. 電源の入れ方

5 リモコンの“選択”ボタンを押して受信ボックスの電子ブザーが鳴るか確認してください。

図７－５



6“ピコ”とブザーが鳴ったら通信できています。

7 ブザーが鳴らないときは通信できていません。電池の向きを確認してください。

（参１３ページ）

8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

●妨害帯下降距離の調整の必要性

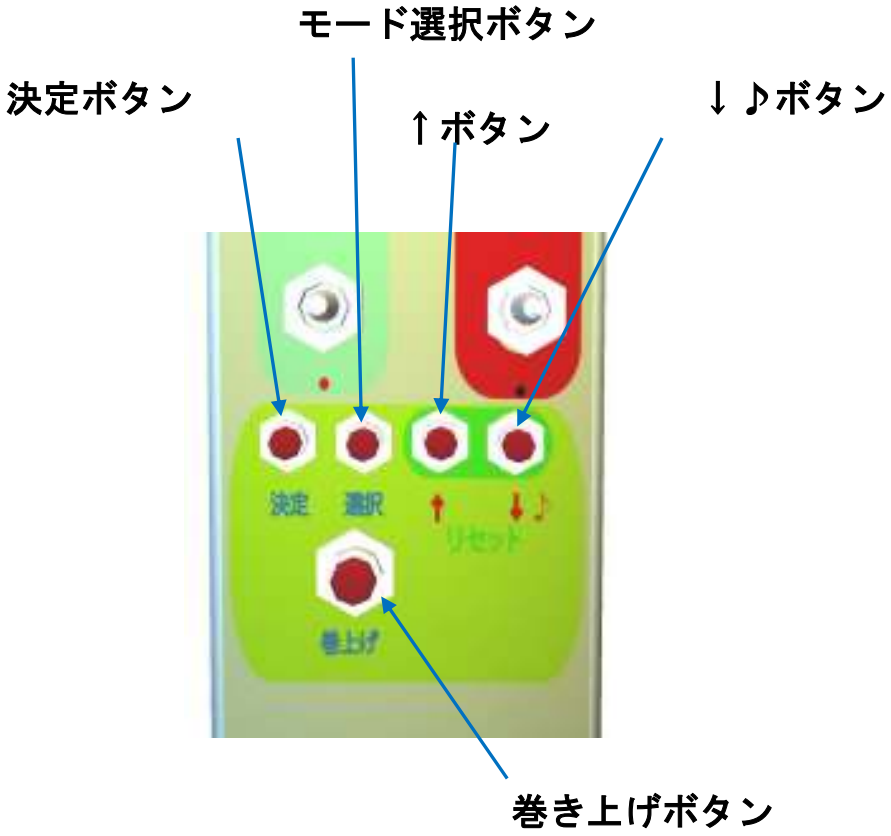
始めて使用するときは装着させる犬の体格に応じて妨害帯の下降距離を調整する必要があります。

※出荷時の妨害帯下降距離の初期設定の値

妨害帯の下降距離　カウンター値　１２　下降距離　約１４ｃｍ

予告ブザー音　　カウンター値　　６　予告時間　約５秒

図８－１



8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

妨害帯の下降距離を犬の体格に合わせて調整しないと“下げる”スイッチを操作したときに次のようなトラブルが起こります。

〇妨害帯の下降距離が足りない----

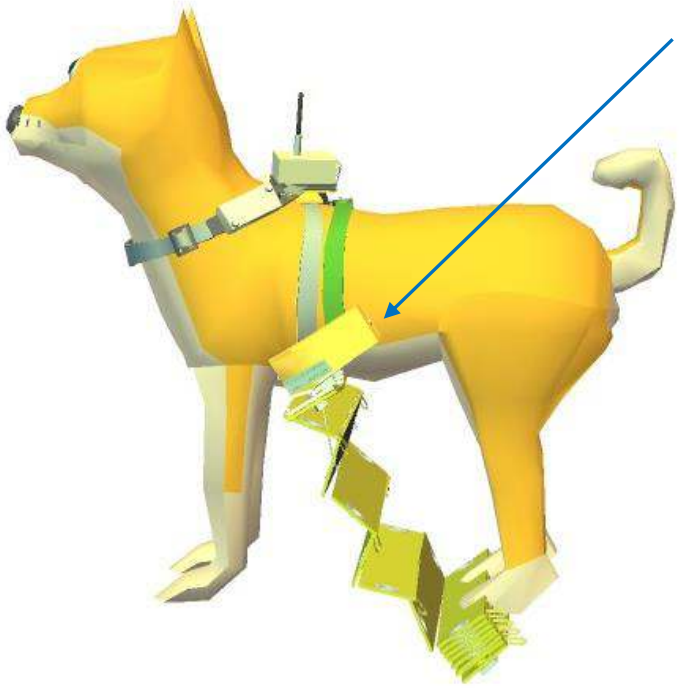
妨害帯の先端が犬の後足の先まで届いてないので犬の前進運動を妨害できません。

図８－２

8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

〇妨害帯の下降距離が長すぎる---

図８－３



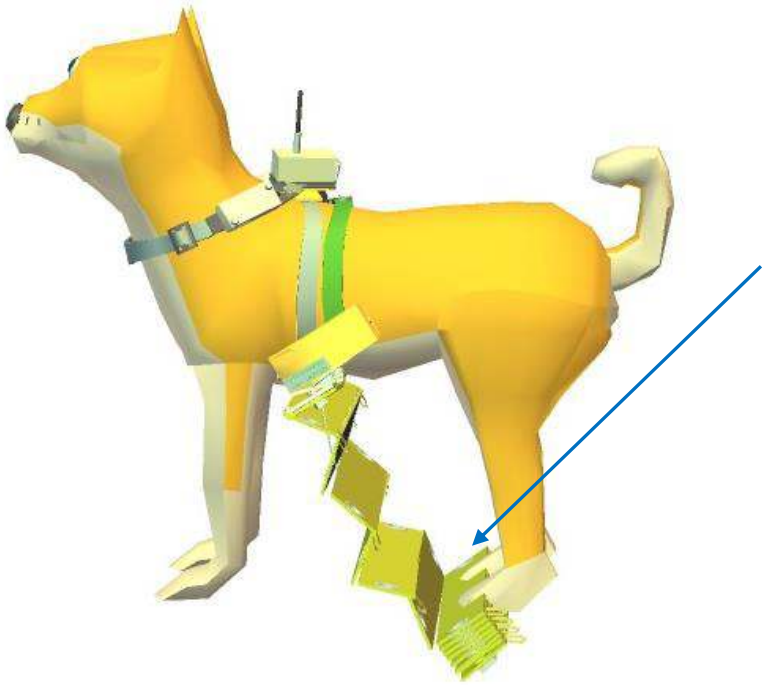
妨害帯の先端が地面に接地した後もモーターの回転がとまらずに巻上げ糸がモーターケース内部で絡まります。

（参照８６ページ）

8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

※巻き上げ糸の適切な下降距離（モーター回転時間）は妨害帯の先端が犬の後足つま先の地面に接するぐらいです。

図８－４



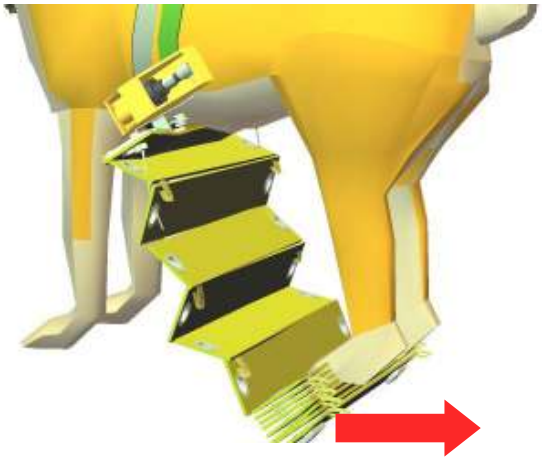
妨害帯が接地するころにモーターが停止するように妨害帯下降距離を調整します。

下降距離の調整が済んだ後は電源を切っても記憶されるので次回使用時は調整の必要はありません。

※妨害帯下降距離は犬のサイズにより異なります。（参３８ページ）

※モーター停止後、犬が妨害帯を踏みつけるとクラッチが空回りして妨害帯の長さは犬の力で自動的に伸びていきます。

図８－５



8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

●妨害帯下降距離の調整方法　左右（ＬＲ）

1 リモコンの“上げ下げスイッチ”が“上げる”の状態になっていることを確認してください。

図８－６

上げ下げスイッチは“上げる”の状態にします。

8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

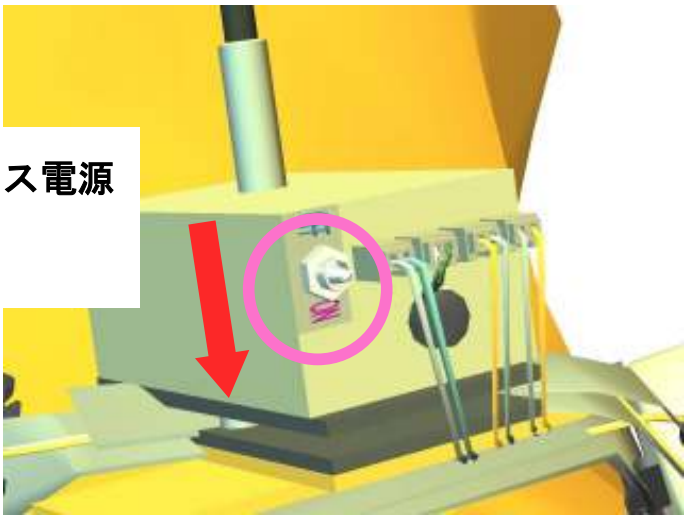
2 リモコン、受信ボックスの順に電源を入れます。

リモコン電源

ＯＮ

受信ボックス電源

ＯＮ



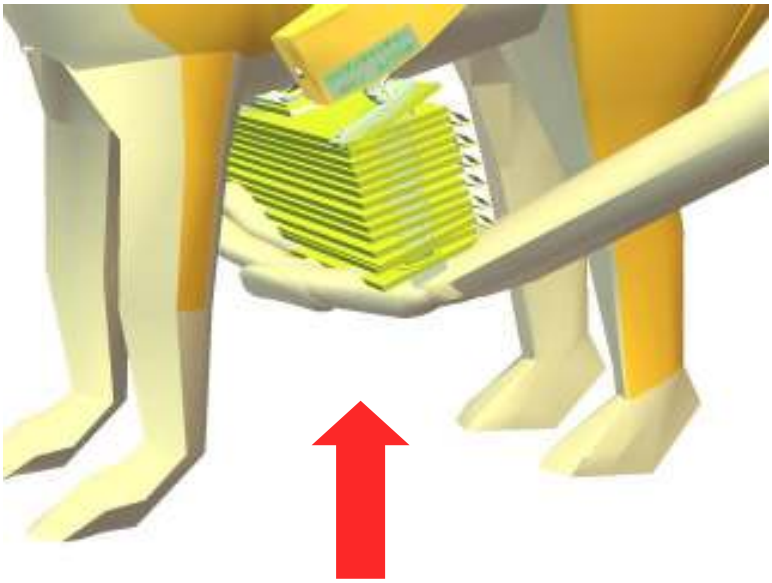
8. 使用前の準備—妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

3“巻上げボタン”で妨害帯の先端を最上部まで巻き上げた状態にします。

妨害帯の巻き上げは手で妨害帯を持ち上げた状態で巻き上げボタンを押してください。

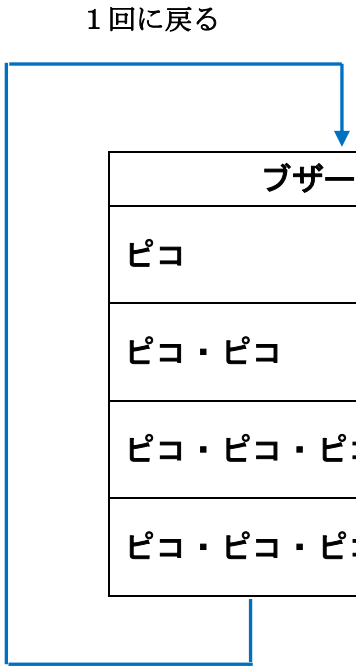
※巻き上げボタンを押している間のみ巻上げ糸が巻き上がります。

図８－７



8. 使用前の準備—妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

4 リモコンの“選択ボタン”を押して“ピコ”音が１回のモードに合わせてください。



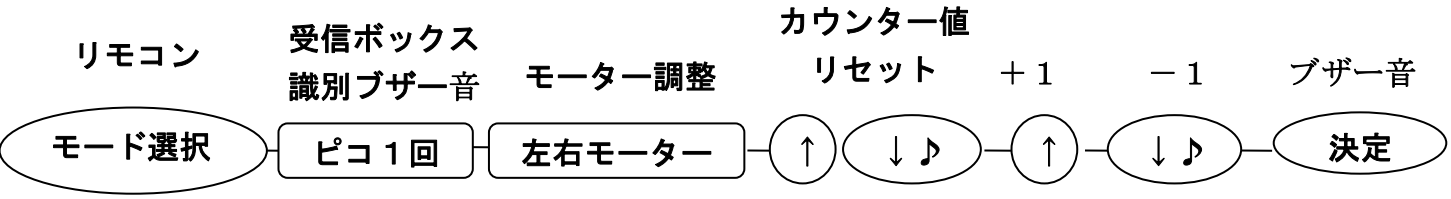
ピコ音の回数とモード選択表

ブザー音	選択ボタン	選択モード
ピコ	１回	左右（ＬＲ）巻き上げモーター回転時間の調整
ピコ・ピコ	２回	左（Ｌ）巻き上げモーターの回転時間の調整
ピコ・ピコ・ピコ	３回	右（Ｒ）巻き上げモーターの回転時間の調整
ピコ・ピコ・ピコ・ピコ	４回	予告ブザー音の長さ調整

※「４回ピコ音モード」の後に“選択”ボタンを押すと「１回ピコ音モード」に戻ります。

8. 使用前の準備—妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

●妨害帯下降距離の調整方法



6 リモコンの“選択”ボタンを数回押して電子ブザーが１回鳴るモードにします。

“ピコ音” １回のときは左右（ＬＲ）のモーターの回転時間調整モードです。

7“↑”と“↓♪”の２つのボタンを同時に押してカウンター値をリセットします。

※リセット操作を行うと長めの確認ブザーが鳴ります。

図８－８

２つのボタンを同時に押してください。

※出荷時のカウンター値の初期値は“１２”です。リセット操作を行わず“↑”や“↓♪”のボタンを押した場合はすでに設定されたカウンター値“１２”にプラス又はマイナスされます。

8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

8“↑”を押すたびに“ピコ”音が鳴りカウンター値が１つ上昇しますので「カウンター値と妨害帯下降距離表」（参３９ページ）を参照して足の長さに対応した回数押してください。カウンター値を下げる場合は“↓♪”ボタンを押してください。

※カウンター値が決定したら忘れないように表に印を付けると次回の調整が楽になります。

※カウンター値を目視する機能はないので現在のカウンター値を確認することはできません。

※途中で何回押したかわからなくなったときは２７回以上“↓♪”ボタンを押してカウンター値を０に戻してもう一度設定をやり直してください。

※２７回以上“↑”ボタンを押しても２７よりプラスになりません。

※２７回以上“↓♪”ボタンを押しても０よりマイナスになりません。

※リセット操作を行うと左右妨害帯下降距離、左右単独設定下降距離、予告ブザー音の時間設定もリセットされます。

8. 使用前の準備—妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

※各種カウンター値は電源を切って電池を外しても保存されますので次回使用時に再調整の必要がありません。

カウンター値と妨害帯下降距離表

カウンター値	下降距離(cm)	カウンター値	下降距離(cm)	カウンター値	下降距離(cm)
0	0	10	9.5	20	29.0
1	1.0	11	12.0	21	32.0
2	1.5	12	14.0	22	35.0
3	2.0	13	16.0	23	37.0
4	3.0	14	17.0	24	38.0
5	4.0	15	19.0	25	42.0
6	5.5	16	21.0	26	44.0
7	6.0	17	24.0	27	48.0
8	7.0	18	25.0		
9	8.0	19	28.0		

※妨害帯の下降距離は電池の残量が少なくなると上記表の値より短くなります。

※小型の柴犬でカウンター値は１２ぐらいです。

8. 使用前の準備—妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

9 カウンター値の設定後に“決定”ボタンを押してください。

図８－９

※“決定”ボタンを押して確認ブザーが鳴らないとカウンター値は変更されていません。

10 リモコンの“下げる”操作で設定通り妨害帯が下降しているか確認してください。

11 下降距離が適切でないときは「左右モーター回転時間の調整モード」で“↑”ボタンや”↓♪“ボタンを押して前回設定したカウンター値を変更してください。

※カウンター値変更後に再度“決定”ボタンを押してください。

8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

※カウンター値を目視する機能はないので現在のカウンター値を確認することはできません。

※途中で何回押したかわからなくなったときは２７回以上“↓♪”ボタンを押してカウンター値を０に戻してもう一度設定をやり直してください。

※２７回以上“↑”ボタンを押しても２７よりプラスになりません。

※２７回以上“↓♪”ボタンを押しても０よりマイナスになりません。

※リセット操作を行うと左右妨害帯下降距離、左右単独設定下降距離、予告ブザー音の時間設定もリセットされます。

※各種カウンター値は電源を切って電池を外しても保存されますので次回使用時に再調整の必要がありません。

8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

●妨害帯の下降距離のバランスが取れてない場合

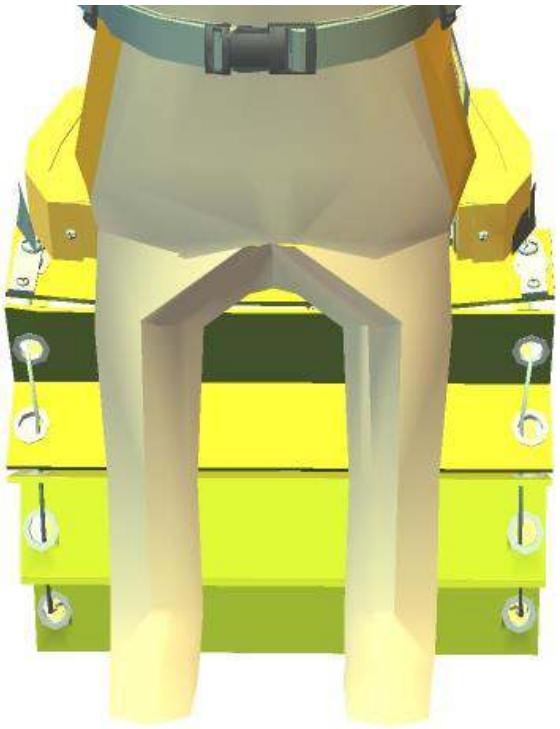
モーターユニットや妨害帯の性質、摩擦の違いにより妨害帯が下がりきったときに右側と左側の下降距離が違う場合があります。このままですと装置の性能を十分発揮できません。妨害帯の下降距離が左右同じ長さになるようにしてください。

※バランスが取れている場合は調整の必要はありません。

図８－１０

正常な状態

右（R）



左（L）

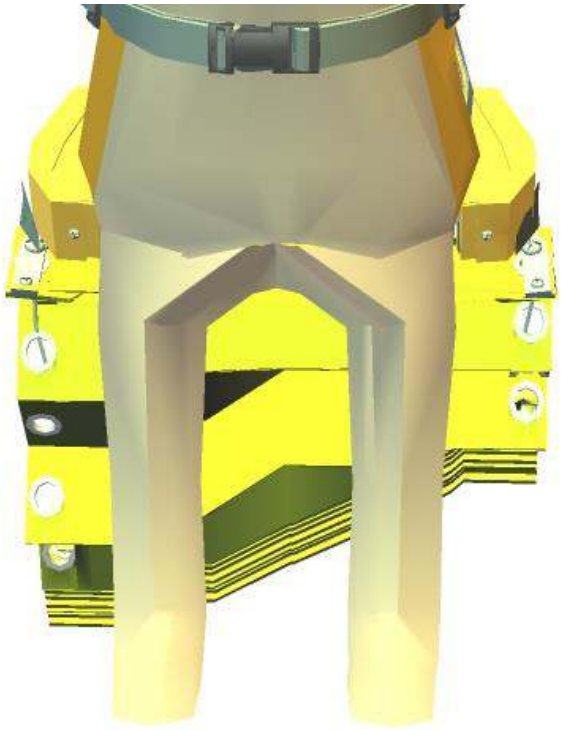
8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

●左側（Ｌ）の妨害帯の下降距離が少ない場合の調整方法

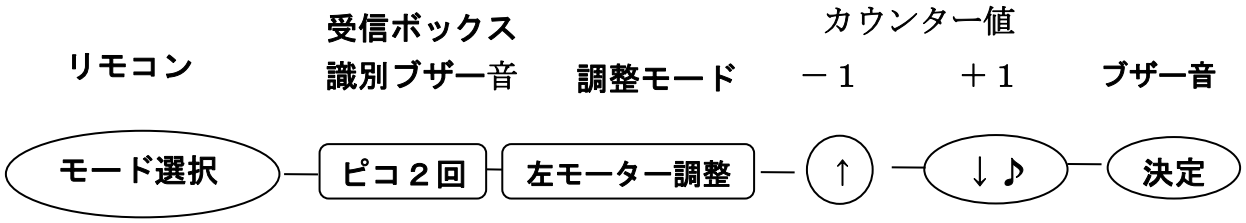
図８－１１

左側の下降距離が短い場合

右（Ｒ）



左（Ｌ）



リモコンの“選択”ボタンを数回押して電子ブザーが２回鳴るモードにします。

ピコ音が２回のときは「左（Ｌ）のモーター単独設定」です。

“↑”を押すたびに“ピコ”とブザーが鳴りカウンター値が１つ上昇しますので「カウンターの値と妨害帯下降距離表」（参３８ページ）を参照して距離に応じたカウンタ

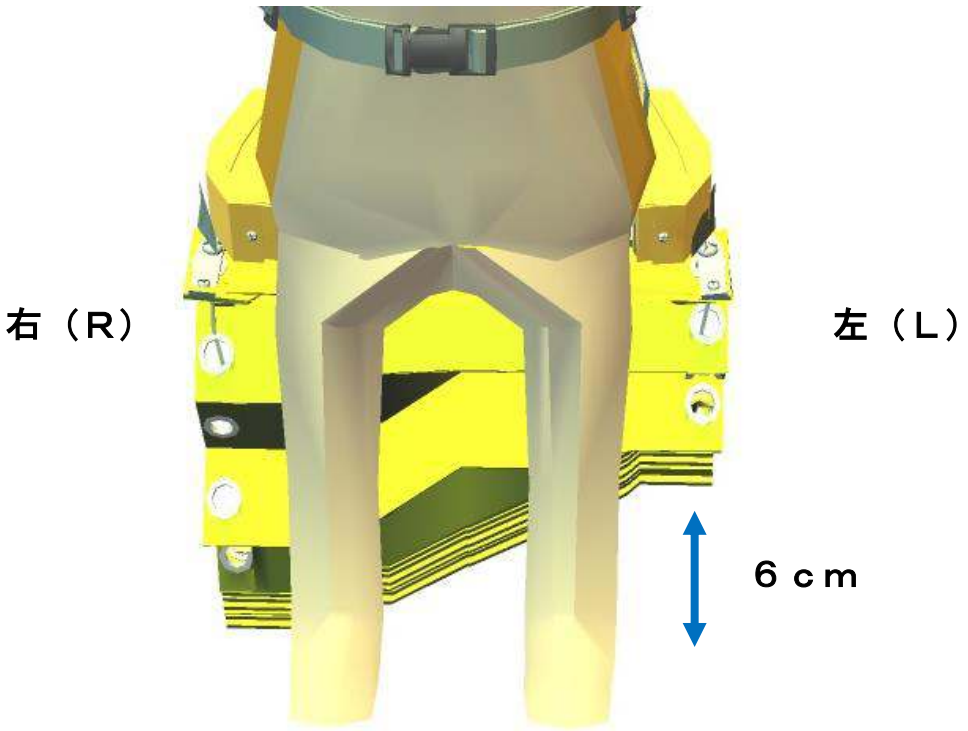
一値を設定してください。カウンター値を下げる場合は“↓♪”ボタンを押してください。

カウンター値を設定後は“決定”ボタンを押して設定を反映させてください。

（例）

たとえば・・・左右の妨害帯が下降し終えたときに妨害帯の右側は正常の位置にあるが、左側が右側より６ｃｍぐらい下降距離が少ない場合。

図８－１２



●設定方法

この場合左側のモーターの回転時間を右側より少し長くして左右の妨害帯の下降距離

を同じにする必要があります。

「カウンター値と妨害帯下降距離表」表（参３８ページ）から６センチに対応するカウンター値は６回なので“↑”ボタンを６回押して“決定”ボタンを押してください。

※製品出荷時の左右単独設定のカウンター値は０です。使用者がすでに「左モーター単独設定モード」でカウンター値を変更している場合は “↓♪”ボタンを２７回以上押してカウンター値を０に戻してもう一度設定をやり直すかリセット操作をしてください。

※リセット操作を行うと左右妨害帯下降距離、左右単独設定下降距離、予告ブザー音の時間設定もリセットされます。

●動作確認

妨害帯を上昇させて再度下げる操作を行うと最初に左側のみ６センチ下降してから左右の妨害帯が同じ距離下降して最終的には左右同じ距離になります。

※カウンター値を目視する機能はないので現在のカウンター値を確認することはできません。

※途中で何回押したかわからなくなったときは２７回以上“↓♪”ボタンを押してカ

8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

ウンター値を０に戻してもう一度設定をやり直してください。

※２７回以上“↑”ボタンを押しても２７よりプラスになりません。

※２７回以上“↓♪”ボタンを押しても０よりマイナスになりません。

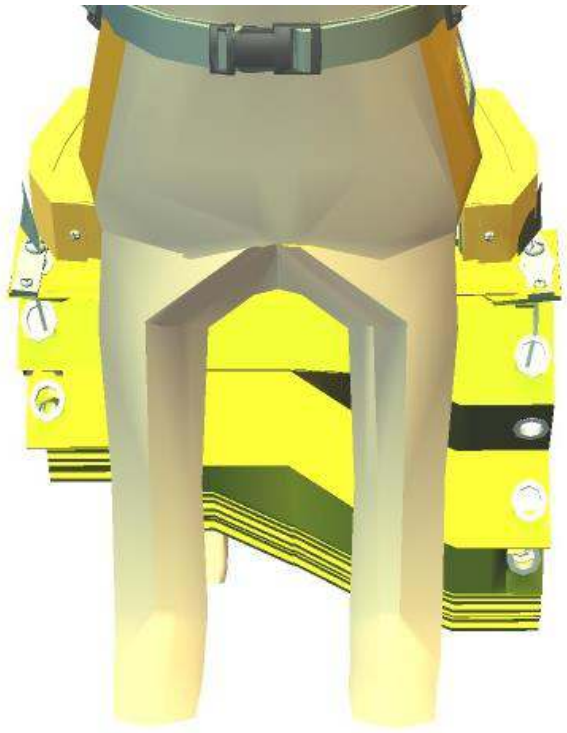
※リセット操作をすると左右妨害帯下降距離、左右単独設定下降距離、予告ブザー音の時間設定もリセットされます。

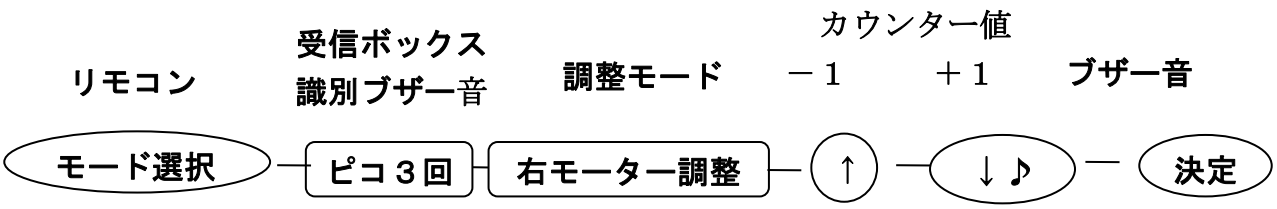
※各種カウンター値は電源を切って電池を外しても保存されますので次回使用時に再調整の必要がありません。

8. 使用前の準備—妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

●右側（R）の妨害帯の下降距離が少ない場合の調整方法

図８－１３





リモコンの“選択”ボタンを数回押して電子ブザーが３回鳴るモードにします。

ピコ音３回のときは右（R）のモーターのみの単独設定です。

“↑”を押すたびに“ピコ”とブザーが鳴りカウンター値が１つ上昇しますので「カウンターの値と妨害帯下降距離表」（参３８ページ）を参照して傾いている距離に応じた回数押してください。カウンター値を下げるときは“↓♪”ボタンを押してください。

8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

カウンター値の設定後は“決定”ボタンを押して設定を反映させてください。

※カウンター値を目視する機能はないので現在のカウンター値を確認することはできません。

※途中で何回押したかわからなくなったときは２７回以上“↓♪”ボタンを押してカウンター値を０にしてもう一度設定をやり直してください。

※２７回以上“↑”ボタンを押しても２７よりプラスになりません。

※２７回以上“↓♪”ボタンを押しても０よりマイナスになりません。

※リセット操作をすると「左右妨害帯下降距離」、「左右単独設定下降距離」、「予告ブザー音の時間設定」もリセットされます。

※各種カウンター値は電源を切って電池を外しても保存されますので次回使用時に再調整の必要がありません。

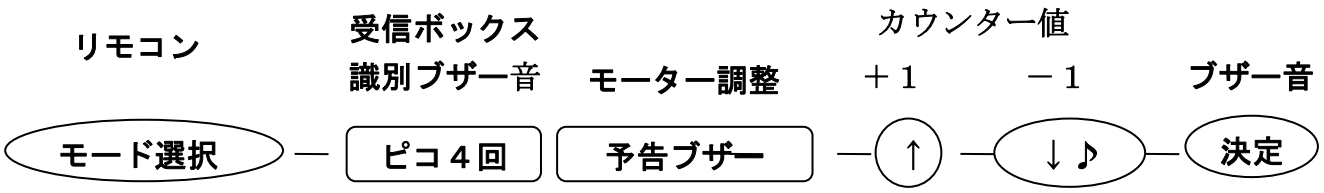
8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

●妨害帯予告ブザーの時間調整の方法

犬の怪我防止のため妨害帯は予告ブザーが鳴った後に下がり始めます。予告ブザーの鳴る時間は０秒～２０秒の間で自由に設定できます。カウンター値とブザーの長さ表（参５０ページ）を参照して調整してください。

※予告ブザーが鳴る時間が長いと“下げる”操作をしても妨害帯が下降するまでの時間が長くなるので犬が遠くへ歩いていきます。

※予告ブザーが鳴る時間の長さを０秒にすると“下げる”操作後すぐに妨害帯は下降を開始しますが、犬は妨害帯が下がることを予知できないのでつまずいて怪我をする可能性があります。



リモコンの“選択”ボタンを数回押して電子ブザーが４回鳴るモードにします。

ピコ音が４回のときは「妨害帯下降予告ブザー時間調整モード」です。

下記の「カウンター値とブザーの長さ表」（参５１ページ）を参照して“↑”か“↓♪”

8. 使用前の準備―妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

ボタンを押して予告ブザーの鳴る時間を設定してください。

※カウンター値を目視する機能はないので現在のカウンター値を確認することはできません。

※途中で何回押したかわからなくなったときは２７回以上“↓♪”ボタンを押してカウンター値を０に戻してもう一度設定をやり直してください。

※２７回以上“↑”ボタンを押しても２７よりプラスになりません。

※２７回以上“↓♪”ボタンを押しても０よりマイナスになりません。

※各種カウンター値は電源を切って電池を外しても保存されますので次回使用時に再調整の必要がありません。

8. 使用前の準備—妨害帯下降距離と予告ブザー時間の調整（初期設定）

カウンター値とブザーの長さ表

カウンター値	ブザー時間（秒）	カウンター値	ブザー時間（秒）	カウンター値	ブザー時間（秒）
0	1	10	8	20	14
1	1	11	8	21	15
2	2	12	9	22	15
3	3	13	10	23	16
4	4	14	10	24	17
5	4	15	11	25	18
6	5	16	11	26	19
7	6	17	12	27	20
8	7	18	12		
9	7	19	13		

※各種設定は電源を切って電池を外しても保存されます。